

ポーランド政治クロノロジー(2010年8月)

月	内政	外交
8月	<p>1日 ワルシャワ蜂起 66 周年記念式典</p> <p>3日 最高裁,大統領選挙の有効性を認定。</p> <p>3日 トゥスク首相,院内総務会合を開催し,2010~2013年の財政プランを発表。</p> <p>3日 大統領機墜落事故犠牲者追悼のため,大統領官邸前に設置された十字架の移設をめくり,移設反対派市民が結集し,警察と衝突。</p> <p>4日 トゥスク首相,下院にて財政報告。教員の給料引き上げ,老齢・障害年金の維持を発表。</p> <p>4日 下院,改正メディア法案を可決。</p> <p>4日 下院,クフチンスキ下院議員(「法と正義」:PiS)を下院副議長に選出。</p> <p>4日 下院,全国ラジオ・テレビ評議会の下院選出2ポストに左派クラブの推すロゴフスキ映画プロデューサー,グラボシ下院議員(民主左翼連合:SLD)を選出。</p> <p>6日 下院にて,コモロフスキ大統領宣誓式。歴代大統領,上下両院議員,トゥスク大臣,プゼク欧州議会議長等が参列。対立候補であったカチンスキ PiS 党首は宣誓式を欠席。</p> <p>9日 全国ラジオ・テレビ評議会,議長にドゥボラック(「市民プラットフォーム」:PO)元国営テレビ局会長が就任。</p> <p>12日 大統領府,大統領官邸前に追悼プレートを設置し,除幕式を挙行。</p> <p>12日 下院,洪水支援改正法を可決。</p> <p>13日 コモロフスキ大統領,洪水支援改正法,メディア改正法に署名。</p> <p>16日 コモロフスキ大統領,ナウエンチ元下院副議長(SLD)を大統領顧問に起用。</p> <p>16日 コモロフスキ大統領,中央反汚職庁(CBA)改正法に署名。</p> <p>17日 ギエルティフ元副首相兼教育相,カチンスキ PiS 党首に対する議員免責特権剥奪を求める動議を下院に提出。</p> <p>23日 パヴラク農民党党首,連立与党の農民党</p>	<p>2日 シュワルツェンベルグ・チェコ副首相兼外相,ポーランド訪問。</p> <p>2日 トゥスク首相,政府専用機の墜落事故調査に対するロシア側の協力姿勢が当初に比べ悪くなっている事を認め,要すればロシア大統領または首相との間の仲介を自ら行う旨発言。</p> <p>4-6日 ニキーチン・ベラルーシ陸軍司令官,ポーランド訪問。</p> <p>5日 レアンカ・モルドバ外務・欧州統合相,ポーランド訪問。</p> <p>5日 クリフ国防相,グート大佐を新しい GROM 司令官に任命。</p> <p>5日 ワルシャワ控訴裁判所,ワルシャワで EU 共通逮捕状に基づき逮捕されたモサドのエージェントとされる人物をドイツへ引き渡す地裁の判決を支持。</p> <p>5日 シコルスキ外相及びミレル内務行政相,ポーランド・ロシア間で合意したカーニングラード全域を対象とした無査証往来に関し,EU 各国に現行規定変更への支持を求める書簡を発出すると発言。</p> <p>6日 アフガニスタンにて,爆発物による攻撃により,ポーランド軍兵士 1 名死亡,5 名負傷。</p> <p>8日 ロシアの森林火災の消火支援のため,ポーランドから消防士と消防車両を 2 週間ロシアに派遣。</p> <p>9日 リトアニア外務省報道官,カーニングラード全域を対象とした無査証往来を支持しない旨発言。</p> <p>9日 トゥスク首相,プーチン露首相と露作成の政府専用機墜落事故調査書の引渡しについて電話会談。</p> <p>10日 露メドベージェフ大統領,映画監督アンジェイ・ワイダ氏に友好勲章を贈る大統領令に署名。</p> <p>10日 コモロフスキ大統領,クラウス・チェコ大統領と会談(於:シニェシカ山)。</p> <p>11日 コモロフスキ大統領,ザトレルス・ラトビア大統領と電話会談。</p> <p>13-17日 フリエルス独陸軍総監,ポーランド訪問。</p> <p>15日 ポーランド軍記念日式典が開催され,コモロ</p>

<p>が VAT 増税に反対している件につき、トウスク首相が連立解消も辞さないと言ったと発言。</p> <p>23 日 新党設立を表明したパリコト議員(PO)に対し、ニェショウオフスキ副議長(PO)が自制するよう説得。</p> <p>23 日 ミガルスキ欧州議員(PiS), PiS の支持率低迷について、カチンスキ党首を批判。</p> <p>23 日 最高監査院(NIK), サッカーのユーロ2012大会準備の遅延を指摘。</p> <p>25 日 トウスク首相及びボニ無任所大臣、普通年金協会参加企業の経営者と会合。</p> <p>26日 PiSの複数の議員、カチンスキ党首が党首の職を辞する可能性がある旨発言。</p> <p>26日 PiS, VAT増税に代えて銀行税の導入を提案。</p> <p>26 日 「女性・家族計画連合」及びバリツキ下院議員(左派, 無所属), 人工妊娠中絶禁止法に関する会議を開催。</p> <p>27 日 コモロフスキ大統領, 改正警察官・国境警備隊関連法に署名。</p> <p>27 日 英国内務省によると、ポーランドから英国への新規の労働移民は年々減少。</p> <p>29 日 トウスク首相及びワレサ元大統領, 「連帯」発足 30 周年を記念し, 「連帯」記念碑前で献花(於:グダンスク)。</p> <p>29 日 コモロフスキ大統領, シチェチン合意署名 30 周年記念式典に出席(於:シチェチン)</p> <p>30 日 政労合意 30 周年に際する第 24 回「連帯」全国大会開催, コモロフスキ大統領, トウスク首相, カチンスキ PiS 党首等出席。ワレサ元大統領は欠席。式典中, クシボノス元「連帯」活動家が予定なく演壇にあがり, カチンスキ PiS 党首の発言を批判(於:グディニア)。</p> <p>31 日 グダンスク管区裁判所, ワレサ元大統領が元秘密警察エージェントであったと主張するヴィシュコフスキ氏の発言を容認する判決。</p> <p>31 日 トウスク首相, 行政簡素化担当全権代表にヤッセル氏を任命。</p>	<p>フスキ大統領が軍指揮権を継承。チェニユフ参謀総長, 大将に昇任。</p> <p>16-20 日 ヴァルソロメオス 1 世コンスタンティノーブル総主教, ポーランド訪問。</p> <p>16 日 ポミャノフスキ駐独ポーランド大使館次席, 独ポ外務省間の人事交流により, ピーパー外務省国務大臣の顧問に就任。</p> <p>17-19 日 パルルスキ首席軍検事訪露。大統領機墜落事故に関する露側の調査レポート 11 巻を受領。</p> <p>19 日 グルジンスキ准将, ワルシャワ駐屯地司令に就任(故ギラルスキ司令の後任として)。</p> <p>19 日 コモロフスキ大統領, リトアニアを非公式訪問。</p> <p>20 日 欧州善隣デーに合わせ, ポーランド・ウクライナ国境会議開催(於:クリロヴォ)。</p> <p>23 日 ポーランド国際問題研究所, 「欧州対外活動庁(EEAS)設立前夜における EU 人事に関する分析」と題する報告書を公表。</p> <p>24 日 コモロフスキ大統領の「グルジアは同大統領に対して, カチンスキ前大統領ほどの期待は持つことはできない」との発言に抗議し, フォティガ国際労働機関(ILO)専門家(元外相)が, 辞職を表明。</p> <p>24-25 日 マカロフ露参謀総長, ポーランド訪問。</p> <p>24-27 日 グランソン・スウェーデン陸軍司令官, ポーランド訪問。</p> <p>25 日 エドムンド・クリフ国家航空機事故調査委員会委員長, ロシア国際航空委員会から事故現場から回収された政府専用機の航法記録及び燃料に関する分析結果等の書類を受領。</p> <p>25-27 日 クロウツインガー・ヤニーク独空軍総監, ポーランド訪問。</p> <p>28 日 ポーランド航空の日式典にコモロフスキ大統領参列(於:ウスク)。</p> <p>31 日 コモロフスキ大統領, ポーランド大使会議に出席。</p> <p>31 日 ポーランド空軍, NATOバルト三国領空警備任務終了(於:リトアニア)。</p>
---	---